

2025年4月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

| | | | |
|---------|---------|-------------------|---------|
| 大 阪 店 | △13.9 | 大 宮 店 | +5.4 |
| 堺 店 | △2.8 | 柏 店 | ※2 +0.3 |
| 京 都 店 | ※1 △4.6 | E C 店 | +4.1 |
| 泉 北 店 | △5.6 | (株)高島屋各店計 | △5.0 |
| 日 本 橋 店 | +1.9 | 岡 山 高 島 屋 | +1.7 |
| 横 浜 店 | △3.3 | 高 崎 高 島 屋 | +0.2 |
| 新 宿 店 | △5.0 | 国 内 百 貨 店 計 | △6.6 |
| 玉 川 店 | +2.5 | 国 内 百 貨 店 既 存 店 計 | ※3 △4.8 |

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高△6.6%(※△4.8%)、免税売上高△32.5%、免税を除いた店頭売上高△1.0%(※+1.3%)となりました。

○国内顧客は、物産展等の食料品催事が堅調に推移したこともあり、既存店対比で前年実績を上回りました。

インバウンド顧客について、化粧品やスポーツ用品は前年からプラスとなりましたが、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品がマイナスとなった影響が大きく、前年実績を下回り、店頭売上高全体を押し下げました。

○店舗別売上高は、日本橋店、玉川店、大宮店、柏店、EC店、岡山店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類)は、スポーツ、食料品、食堂が前年実績を上回りました。